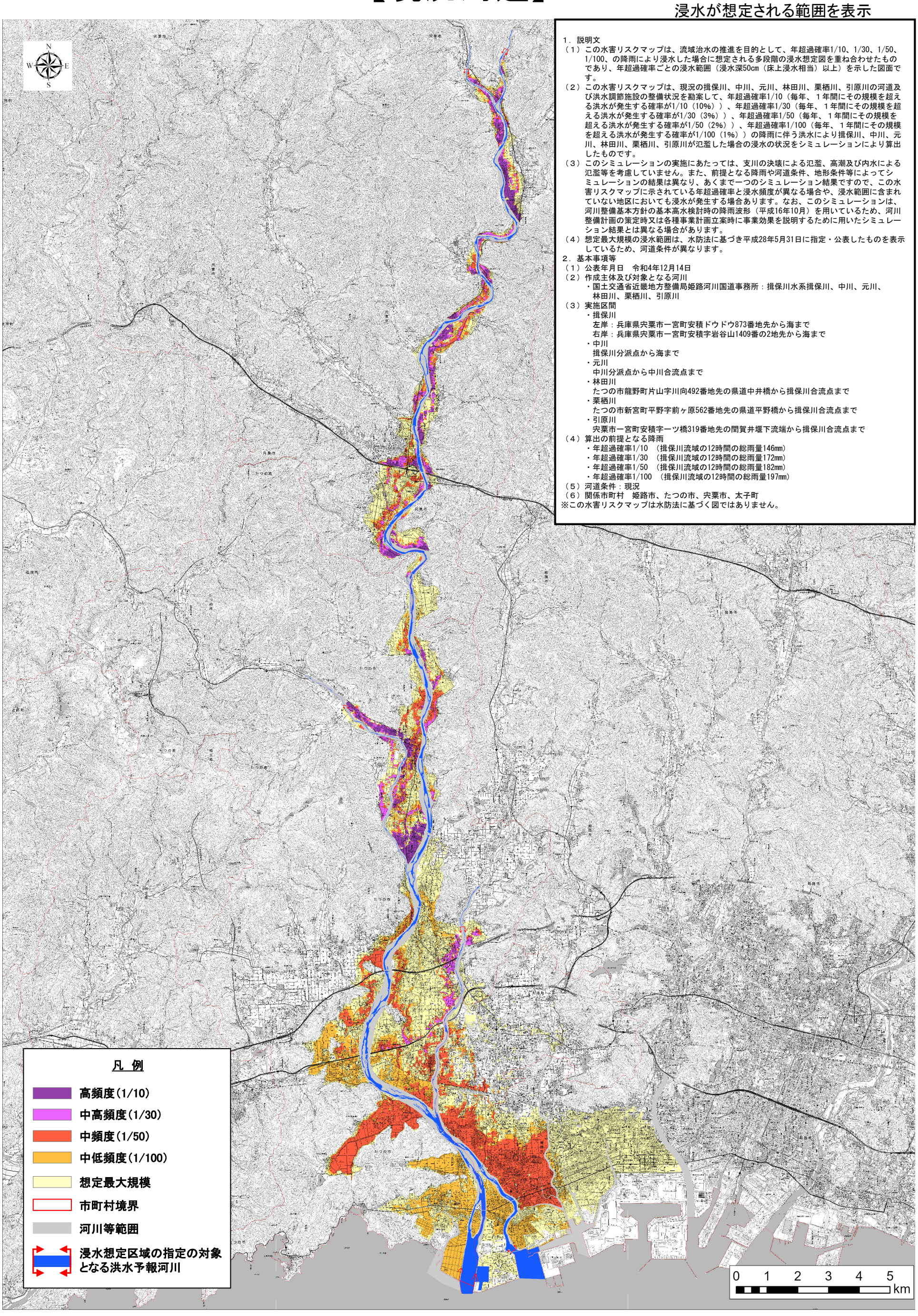
揖保川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の揖保川、中川、元川、林田川、栗栖川、引原川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により揖保川、中川、元川、林田川、栗栖川、引原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（平成16年10月）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月31日に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（1）公表年月日　令和4年12月14日

（2）作成主体及び対象となる河川
- 国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所：揖保川水系揖保川、中川、元川、林田川、栗栖川、引原川

（3）実施区間
- 揖保川
  左岸：兵庫県宍粟市一宮町安積ドウドウ873番地先から海まで
  右岸：兵庫県宍粟市一宮町安積字岩谷山1409番の2地先から海まで
- 中川
  揖保川分派点から海まで
- 元川
  中川分派点から中川合流点まで
- 林田川
  たつの市龍野町片山字川向492番地先の県道中井橋から揖保川合流点まで
- 栗栖川
  たつの市新宮町平野字前ヶ原562番地先の県道平野橋から揖保川合流点まで
- 引原川
  宍粟市一宮町安積字一ツ橋319番地先の閏賀井堰下流端から揖保川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨
- 年超過確率1/10　（揖保川流域の12時間の総雨量146mm）
- 年超過確率1/30　（揖保川流域の12時間の総雨量172mm）
- 年超過確率1/50　（揖保川流域の12時間の総雨量182mm）
- 年超過確率1/100　（揖保川流域の12時間の総雨量197mm）

（5）河道条件：現況

（6）関係市町村　姫路市、たつの市、宍粟市、太子町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 735